



▲佐藤副市長に作品を手渡す庄司さん。大太鼓の館のカウンター上部に展示され来館者を迎えます

「出陣行列」を切り絵作品に
大館市の庄司さん、大太鼓の館に寄贈
本市綴子の「大太鼓の館」に7月2日、綴子神社例大祭での出陣行列を描いた切り絵作品が寄贈されました。
寄贈したのは、阿仁前田出身で大館市東台の元小学校教諭、庄司時二さん(68)。作品は、隊列を組む総勢80人ほどの人物や太鼓を色紙や和紙を使って色鮮やかに表現したもので、1枚の大きさが40cm×1mの5枚1組で、並べると長さ5m以上にもなる大作です。
同施設で行われた贈呈式で庄司さんは、「人物の手や足の動き、表情などに気をつけた。祭りの華やかさが表現でき、満足している」と話し、作品を佐藤修助副市長に手渡しました。



▲13連覇を果たした竜森小チームのメンバー。全国大会でも上位入賞を目指そうと連日練習に取り組んでいます

竜森小が団体13連覇
交通安全子供自転車秋田県大会
第36回交通安全子供自転車大会が7月2日秋田市の県立体育館で開かれ、団体の部で竜森小学校が13回連続14度目の優勝を飾ったほか、鷹巣中央小学校が準優勝に輝きました。
大会には全県から5小学校が参加。4人1組の団体の部には6チーム、個人の部に37人が出場し、交通規則の知識を問う学科と3種目の実技で総合得点を競いました。
学校統合のため今年度で閉校となる竜森小にとっては最後の大会でしたが、各種目で高得点を獲得し、見事13連覇を成し遂げました。
同小チームは8月8日に東京都で開催される全国大会に出場します。



▲全国ラージボール卓球大会準優勝を成し遂げた福田幸作さん。「無欲の勝利」と大会を振り返っていました

ラージボール卓球で全国準V
福田幸作さん、Aクラス初挑戦で
第21回全国ラージボール卓球大会男子140歳Aクラスダブルスで準優勝した栄字中綱の福田幸作さん(70)が7月7日、市役所を訪れ岸部市長に成績を報告しました。
神奈川県で開かれた大会には全国から約2700人が参加しました。昨年はBクラスを制した福田さん。国体経験者も出場する同クラスは初挑戦でしたが、大館市の細谷忠芳さんとペアで見事準優勝に輝きました。
福田さんは、「相手の胸を借りるつもりで挑んだのがよかった。無欲の勝利」と振り返り、岸部市長は、意欲的に生涯スポーツに取り組む福田さんを称えていました。



▲子どもたちも含め、10集落から約600人が参加して行われた「稲穂ロード」への花の植栽活動

稲穂ロードを花の道に
大太鼓の里保全隊が花の植栽活動
綴子大太鼓の里保全隊(藤島勝政隊長)による花の植栽活動が7月6日、同地区内の農免農道、通称「稲穂ロード」で行われ、子どもたちも含め地域住民約600人が環境保全活動に汗を流しました。
活動は、昨年度から始まった県の「農地・水・環境保全向上対策」の一環。赤と白の百日草の苗約6200本が用意され、田中から糠沢までの区間約3.3kmの農道の両側に植えられました。
保全隊ではこの後、苗がしっかりと根付くまで水やりなどの手入れも行い、お盆過ぎ頃には稲穂ロードが花で美しく彩られます。



▲気温30度を超える炎天下、きびきびと競技に臨む消防団員(6日、米代川河川敷で行われた鷹巣支団の大会で)

きびきびと大会に臨む
平成20年度市消防団各支団訓練大会
北秋田市消防団(吉田嘉隆団長)の平成20年度各支団訓練大会が6月から7月にかけて市内の河川敷などで開かれ、各分団がポンプ操法などで日頃の訓練の成果を競いました。
大会は、的確、迅速な消防技術の習熟、消防防災体制の充実強化と災害に強いまちづくりを推進することを目的に年に一度各支団ごとに開催されています。
7月6日に実施された鷹巣支団の大会には10分団と婦人消防隊が参加。炎天下、汗だくになりながら自動車ポンプ操法、小型ポンプ操法、規律部門の3部門できびきびと競技に臨んでいました。



▲40人がホテル号に乗り込み、車窓からのホテル狩りを楽しみました。車内ではホテルに関するクイズ大会も

ホテルが飛び始めたよ
車窓から観賞 秋田内陸線ホテル号
秋田内陸縦貫鉄道では「ホテルの里づくり」に取り組んでおり、昨年には車窓からホテルを観賞するホテル号を運行しています。
7月4日、阿仁合駅から運行された「笑う岩偶ホテル号」には、ホテルを一目みようという約40人が乗車しました。
ホテルに関するクイズ大会などを楽しみながら白坂地区の観賞地点に到着。この日はあいにくの悪天候でしたが、車内の電気が消されると、あちこちでホテルが確認できました。
霧の中で幻想的に光るホテルに子どもも大人も窓から身を乗り出して「いたー!」と大興奮の様子でした。